

ぼらまの silver 人材センター

平成30年(2018年)
新年号 No.109



もくじ

- 新年ごあいさつ 2
- 私たちは「戌年」です 3
- 地域班の再編成(小西事務局長にインタビュー)
 広島市SCが当センター訪問 4
- 会員一泊研修バスツアー 5
- 安全適正就業通信 6
- 地区ボランティア活動・救命講習会など 7
- ひろば・配分金確定申告・編集後記 8

人々が
心をこめて 初詣

【茨木神社 鳥居前】

写真は 会員・京極 靖氏の提供

silver



理事長
島川 謙

あけましておめでとうございます。会員の皆さまにはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

礼申しあげます。会員の皆さま主導のもと、事業拡充に向けた会員の増強、普及啓発活動ほか数々の課題を遂行していただきました。これらのことが独自事業をはじめとした各部門での実績数字に反映されています。また、地域社会に貢献するというシルバー人材センターの使命から立ち上がりました新事業「訪問型サービスA」が順調にその成果を上げているのもその一つです。

今年第2次中期5カ年計画の最終年度に入ります。次の中期計画に向けた大切な年の再編成も予定されています。これからも地域の皆さんに密着した事業の推進を図っていきたく思いますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念しまして、新年のごあいさついたします。

迎春

新年のごあいさつ



茨木市長
福岡 洋一

皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は市政の推進にご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

市では、今年、市政施行70周年を迎え、市民の皆さまとともに、その意義と喜びを分かち合えるよう、さまざまな記念事業を進めてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、急速な少子高齢化と現役世代の人口減少が進む中、貴センターでは、豊富な知識と経験を生かした就労を通じ、生きがいづくりや活力ある地域社会の実現にご尽力いただいているところであり、皆さま方のご努力に敬意を表し、感謝を申し上げます。

これからも、高齢者がいつまでも生き生きと活躍できる環境づくりにお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、茨木市シルバー人材センターのさらなるご発展を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



茨木市議会議長
上田 嘉夫

新年おめでとうございます。

皆さま方には、平成30年の輝かしい新春をお健やかに迎えるのと心からお慶び申し上げます。

さて、本格的な少子高齢化が到来し、これまでの経済活動を維持、発展させていくためには、高齢者が積極的に社会参加いただくことが求められています。

このような中、貴センターでは、

あけまして おめでとうございます

- | | | | |
|-----------|-------------|----|--------------|
| 理事長 | 島川 謙 | 理事 | 川本 美子・北達 和雄 |
| 副理事長 | 富澤 秀雄 | 理事 | 木村 正文・西島 澄子 |
| 常務理事兼事務局長 | 小西 昭 | 理事 | 西野 信夫・野瀬 恵美子 |
| 理事 | 青柳知恵子・池浦 豊 | 理事 | 原田 茂樹・廣澤 元一 |
| | 今泉 正光・尾嶋柳太郎 | 理事 | 藤原 経平・山田 良弘 |
| | | 監事 | 本川 憲司・荒木 孝 |

島川理事長を中心に、役員、職員、会員の皆さまが一丸となり、高齢者の雇用促進や就業機会の確保に、日々努力を重ねていただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

皆さま方には、今後とも、高齢者福祉の増進と活力ある地域社会づくりに、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨木市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆さま方のご健勝・ご多幸を心からお祈り申しあげまして、年頭のごあいさついたします。



ボランティア活動で絆を!

乾 修

ボランティア活動をするようになってから丸7年。この頃は活動の範囲が広がり、ほぼ毎日何かの行事が入っております。

身体を鍛えるためのトレーニングをしていくわけでもなく、ボランティア活動で毎日バタバタ身体を動かしていると、現職の時と変わらず、身体が軽い感じがします。毎日のように予定があり、出勤していた頃と

変わらぬ日々。これが「健康保持」の源と割り切って活動しております。しかし、家内は少しでも家庭のことをしてほしいとか、小旅行に行きたいとか、ぼやいておりますが、よく聞かない振りしております。

廻り年を迎え、「今年も皆さんのために少しでもお役に立ち、活動の輪が広がり、絆が深まっていけば」と願い、心新たにしているところです。

私たちは成年です



楽しい仕事にめぐまれて

松浦 貞子



あつという間の年女6回目。自分でもびっくりしています。36年間続けた仕事も終わり、ゆっくりと第二の人生を、と書いていました。当センターの仕事が始めて1年10カ月。誰かの役に立てることがうれしくて楽しく働いています。

今の仕事は清掃です。知的障がい者の方と一緒に働いていますが自立への意欲のある方をみて、私にとっ

ては学ぶことがたくさんあります。作業の仕方についてお互いに分かり合えるように、相手の方の気持ちを尊重しつつ、ゆっくり、丁寧な言葉で話すように心がけています。仕事先で5000歩、家で5000

0歩。足を鍛えるようにしています。健康に気をつけて7回目の年女に向けて頑張りたいと思っています。



茨木に生まれ、住んで

中上美津子

今年は何女です。私の住んでいる所は田や山も近く、四季折々の景色を楽しめます。冬は市内より少し寒く感じますが、住めば都です。私は週一回の小学校の受付業務

や公民館の管理業務をしています。また、地域ではボランティア活動に参加しています。文化祭でブンゴマ作りをしたり、子どもたちの登校時には「おはようございます」と積極的に声かけをしてあ

いさつを交わします。 時間のある時は野菜や花を作り、ペタンク、グラウンド・ゴルフの練習に参加して、仲間の皆さんと楽しんでいきます。少しは上手になったと自己満足しています。

ゆつくりとペダルを踏みながら帰る道すがら、年齢を重ねながらも元気で動ける間は頑張りましょう、と独り言。 三代で暮らせることを幸福に感じ、毎日を健康で過ごしたいと思えます。



日々健康で!

山口 恭生

新年を迎え、今年は何男。まさか、健康でこの年を迎えるとは思っていませんでした。自分をほめる、腹の底から笑う、文字を書く、そして歩くをモットーに生活

をしています。 現在、月に50時間程度マンションの清掃作業をしています。 私は体育系の人間で、これといった趣味もなく苦勞しておりますが、シルバーの会員となり、班長を引き受けたり、各行事に参加

し仲間作りに励んでいます。また、茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」に入塾し、シニア活動いきがいワーカーズ事業に参加しています。

「仲間作り」とともに、「語る」「笑う」「楽しむ」は、健康の源です。年男として本年も生きがいのある年にしたいと思います。 「70歳・80歳になっても夢と希望があれば、青春だ!」

直撃インタビュー

地域班区分を小学校区単位に再編！
～ 新年度から31地区での編成で地域密着を図る ～



市内を5つの地域に区分、それぞれ10から17班、合計65班で活動している茨木市シルバー人材センター。設立から36年、行政サービスや地域環境も大きく変貌、より地域に密着した活動が求められる今日、班構成のあり方も見直しを迫られています。その背景と今後の方向性について、小西事務局長にうかがいました。

65班から31小学校区体制へ

Q 班運営を行ううえでの問題点とは？

地域班の半数以上が複数の小学校区にまたがっており、多い所は4校にもなります。一方で、行政サービスや自治会の地域行事などは基本的に小学校区単位です。そのため、会員さん同士が地域の行事や活動にスムーズに参加できない、地域単位での就業に支障をきたすなどの影響が生じています。



小西事務局長 分かりやすく語る

Q シルバーの力が十分に発揮できませんよね？

今後は、介護予防での「訪問型

サービスA」など地域福祉の増進に寄与する事業や、防災などの地域の安全を守る活動の割合が高まります。元気なシルバーの会員は地域の担い手として大いに期待されています。すでに福祉分野では、小学校区単位での行政サービスが行われており、こうした流れに対応するには、現状の体制では難しくなってきました。

また、会員数にばらつきがあることで班長さんの負担がバランスを欠くなど、抜本的な解決が迫られています。

Q 小学校区単位に再編した場合のメリットは？

「班から校区体制」とすることで、会員が地域行事や地域活動に参加しやすくなり、会員相互のコミュニケーションや親睦も図りやすくなります。また、地域行事への参加が増えれば、センターの啓発

につながり、会員の拡大や地域での就業機会の確保も期待できます。北摂各市のセンターにおいても、学校単位を基本とする班編成になっています。

班長から世話人へ
4月スタート！



Q 新しい運営体制と役割について教えてください。

従来の班長さんの活動内容なども見直し、小学校区単位での「世話人」を原則、2人配置します。そのうえで、会員数の増加に見合った適正な配置基準を定めます。世話人は、会員さんを訪問するなど積極的な声かけ、例えば相談や要望、安否確認などを行い、会員さん同士のコミュニケーションを通じて地域活動への参画意識が高まります。世話人さんは会員さんが日頃抱えている問題点や要望などを早い段階で把握することができ、会員さんの入会促進、退会の抑制にもつながると考えています。



Q 移行の時期は？

現在の班長さんの2年任期が3月で満了しますから、4月スタートの平成30年度から適用されます。

(川野 正照)

広島市SCCが視察来訪
交流深める



当センターが平成26年度の一泊研修バスツアーで訪問した広島市シルバー人材センターから、10月17日に滝澤宏二理事長はじめ役員、事務局の代表6名が視察に来られました。

当時から広島市は、「自主・自立・共働・共助」のシルバー理念を、単なる標語に終わらせることなく、浸透を図るため、会員主導と積極的に取り組む先進市でした。現在も「アクティブシニア」を意識した事業展開を図るため、今後のシルバー人材センターの方向性を協議する「シルバー活性化検討会議」を設けてシルバー事業のPRや就業開拓、会員増強などに取り組まれています。

今回の視察では、島川理事長、富澤副理事長にも出席いただき、広島市から学んだ会員主導の取り組みによる会員増強や就業拡大の成果などの活動状況を披露、意見交換を行いました。

その後、新しく啓発看板を設置した駅前通りのシルバーショップ「クローバー」にも立ち寄っていただき、さらに交流を深めました。



会員一泊研修バスツアー 東近江市に行く

人材の重要性を知る

11月、一泊研修バスツアーに参加しました。総勢39名が最初に目指したのは、東近江市シルバー人材センター。2時間に及ぶ研修で懇切丁寧な説明を受け、活発な意見交換が行われました。

その中で武田信玄の名言を引用され、人は城、人は石垣、…人材である会員の質を高める事が大切という話が印象的でした。人材という、数字には表れない信用や誠意、技術力などの無形資産を優良化することが大事と考えさせられました。

その後、竹生島へ。都久夫須磨神社、西国三十三番札所宝厳寺を参拝。神



東近江市シルバー人材センターでの研修

社で「普請奉行・片桐且元」の名を見つけた時は、歴史が紡ぐ縁を実感しました。その夜は岐阜の長良川温泉にて一泊。楽しく有意義な旅は次の日も続き、次回もぜひ参加したいと思わせるような満足したバスツアーでした。

(鹿谷 清隆)



食品サンプル作りを体験中

色づく近江・美濃を満喫

前日までの雨もあがり、絶好の行楽日和となった11月9・10日、一泊の会員研修旅行に参加しました。総勢39名、近江路を目指し、まずは「東近江市シルバー人材センター」へ。

一市六町が統合してできた市は滋賀県の10分の1の広さ。職員の方からセンターの組織や実績の説明を受け、課題である会員拡大の話や、今後の事業展開のテーマに

認知症サポーター養成講座



認知症サポーター養成講座と

シルバー人材センターの啓発

当センターの普及啓発と地域福祉の増進に寄与する活動であり、当センターへの理解と地域貢献活動を浸透させるものです。

一般市民の方も受講できますので、お知り合いの方もぜひお誘いください。

講習日…平成30年1月31日(水)

時間…10時～12時または13時30分～15時30分

会場…茨木市福祉文化会館

5階 文化ホール

対象者…会員・一般市民

は、大いに刺激を受けました。

その後、紅葉し始めた竹生島を1時間足らず散策し、宿泊地である「長良川温泉」へ。

2日目はまず、徳山ダムや徳山湖を見学。

帰路、郡上八幡に寄り、食品サンプル作りに初挑戦しました。自分で作った「海老の天ぷら」と「レタス」をお土産にいただき、予定時間通りに茨木に到着。

盛りだくさんで、あちこちに心惹かれた楽しい旅でした。

(H・Y)

2018 アクティビシニア フェスタ開催

アクティビシニアフェスタ2018

18が平成30年2月18日(日)に開催予定で、今回で5回目となります。茨木市の高齢者団体が集まり、シニアの元気な活動をアピールする場となっております。講演会や、楽器演奏等、世代を問わず皆さまが楽しめるようなイベントを企画しています。

シルバー人材センターでは、屋外ブースでの焼きそば販売や、相談ブース等での参加を予定しています。

皆さまのご来場をぜひとも願います。(渡邊 康太)



みんなで「はい・チーズ!」

安全適正就業通信

▼安全パトロールを実施!

平成29年10月12日(木)、大阪府シルバー人材センター協議会(大シ協)と合同で安全パトロールを実施しました。大シ協の担当者から「安全確認をしっかりとし、適正に就業できている」と喜ばしい言葉をいただきました。

▼インフルエンザ予防の5カ条

(厚生労働省推奨)

- ① 流行前のワクチン接種を!
- ② 外出後はうがい・手洗いを!
- ③ 適度な湿度の保持に努める!
- ④ 十分な睡眠とバランスのとれた食事を!
- ⑤ 人混みや繁華街への外出をできるだけ控えよう!

※急に38度以上の熱が出て、せきやのどの痛み、全身の倦怠感を伴うなどインフルエンザが疑われる症状が出た場合には、できるだけ早めに医療機関に行くことが大切です。

▼ぜひ健康診断を!

何をするにも健康が一番です。年に1度は健康診断を受診しましょう。

平成29年度当センターの発生事故状況について

平成29年11月24日現在

発生日	職種(作業)	事故の別	就業中・途上の別	事故状況の概要(発生場所)
4月25日	除草	賠償事故	就業中 途上	刈払機で除草作業中に飛石を発生させ、ベランダの窓ガラスを破損させる。(敷地内)
4月28日	除草	賠償事故	就業中 途上	刈払機で除草作業中に飛石を発生させ、車両窓ガラスを破損させる。(駐車場)
5月24日	除草	賠償事故	就業中 途上	刈払機で除草作業中に飛石を発生させ、車両窓ガラスを破損させる。(マンション内)
7月6日	除草	賠償事故	就業中 途上	手刈り除草作業中に、腰に吊下げていた蚊取線香入れが、車側面に接触し、傷をつける。(駐車場)
10月3日	除草	賠償事故	就業中 途上	刈払機で除草作業中に飛石を発生させ、車両窓ガラスを破損させる。(駐車場)
10月11日	施設管理	傷害事故	就業中 途上	物を館内へ搬入する際に、抱えた物を落下させ、右手中指を挟まれ切創を負う。(施設内)
10月25日	除草	賠償事故	就業中 途上	除草作業中に、飛石を発生させ、近くの道路で工事用の油圧ショベルのガラス部分を破損させる。(住宅跡地)

**必ず受けよう
交通安全講習会**

3年に1度は交通安全講習を受講することが、シルバー人材センターで就業するための基本条件です。まだ受講していない方は必ず、次回に開催する交通安全講習を受講してください。自分は大丈夫と過信しないで、安全に対する自覚と意識を持つことがとても大切です。

平成29年度(件)

傷害事故	1
①途上	(0)
②就業中	(1)
賠償事故	6
合計	7
自転車事故	0

会員の皆さま一人ひとりが、安全就業に対する意識を高くもっていただきますようお願いいたします。

(萩原 啓輔)

理事会だより

平成29年度第3回理事会が10月24日に開催されました。報告事項は左記の通りです。

▼報告事項

- 諸般の報告
- 正会員の入会について
- 地域班区分再編成について

▼委員会報告

- (1) 総務委員会
- (2) 就業開拓委員会
- (3) 安全・適正就業委員会
- (4) 福祉家事推進委員会
- (5) 広報委員会

報告事項の地域班区分の再編成は、現行の班編成を大きく変える重大事であり、今後とも、継続審議し、新体制下で円滑な機能が發揮され、その目的が果たされることを願っております。

(山田 良弘)



来たれ!

東地区会員の皆さま!

11月13日、秋晴れの好天に恵まれ、87名が参加し、実施しました。昨年より14名増となりましたが、これも班長さんが日頃から会員とのコミュニケーションをうまく図られた結果だと思えます。

今回は、橋の内北公園と、総持寺駅周辺の2つの班に分かれて清掃を行いました。橋の内北公園では、桜などの落葉がたくさんあり、二十数袋も回収しました。

また、当公園では、日頃よりグラウンド・ゴルフの利用者が清掃をしています。今回の東地区清掃活動は、シルバー人材センターの普及活動に貢献できたことと思っております。ご参加の皆さま、本当にお疲れ様でした。(石田 光夫)



大いに貢献 東地区の清掃活動

東地区 ボランティア清掃活動

茨木おいもスイーツフェアに参加して

茨木市主催の「茨木スイーツフェア」に、昨年に続いて参加しました。私たちの「クローバー」は、「恋するおいも2017」のネーミングで、さつま芋のスコーンを販売しました。

何度も試作を繰り返して、スタッフの皆さんのアドバイスも受けて完成し、販売しました。

多くの方々にお越しいただき、「美味しかったよ!」「また買いたいよ」と、お声をかけてくださ



る方もいて、とても嬉しい喜びと体験をさせていいただきました。(柴田知恵美)

「クローバー」ショップ便り

シルバーショップ・クローバーは、女性会員の就業場所として「元気に楽しく」をモットーに、いつも70~80歳の食事や週替わりの美味しい手作りケーキを販売しています。今後は、子ども食堂なども予定しています。

ぜひ一度、「クローバー」にお越しください。

(上島 恵子)

救急救命講習会に参加して

今まで救命にはあまり関心がなかったのですが、今回はシルバー人材センター主催の救命講習に参加しました。



最初に消防本部職員さんから実践指導を受けた後、職員さんからの「やってみてください」との指示で「傷病者の反応の確認」、「応援を呼ぶ」など、教わった通りに行いました。

実際にやってみると胸骨圧迫の手と甲の使い方などは、見ている時とは違い、少し戸惑ってしまいました。

心肺蘇生法は、素人には難しいと思いますが、今回は貴重な体験ができて良かったです。(西出 照幸)

講習会のお知らせ

交通安全講習会

日時：3月8日(木)・9日(金) 午後2時

場所：茨木市シルバー人材センター2階 大会議室

救急救命講習会

日時：3月19日(月)・20日(火) 23日(金) 午後1時

場所：茨木市消防本部 4階

シニアプラザいばらき「オータムフェア」を終えて

10月29日(日)、シニアプラザいばらき(旧桑田荘)において、シニア4団体主催で「オータムフェア」が開催されました。

今回は土佐沖の「戻りカツオ」を本場の料理人が会場で調理し、来場者にご試食いただきました。薬味のみじん切りや盛りつけなど、配膳はシルバー会員を含む多くの方々にご協力いただき、大盛況に終わりました。



「戻りカツオ」の調理中

「いばらき社協だより」に当センターが紹介される

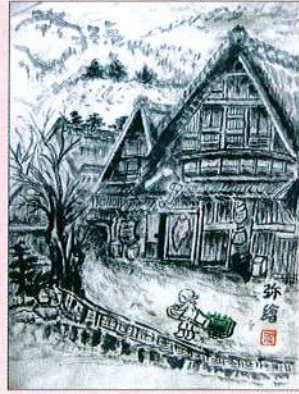
茨木市社会福祉協議会(社協)の広報紙11月号に地域福祉を推進する団体として当センターが紹介されました。すでに展開している「訪問型サービスA」の高齢者の支援体制作りなどに注力する姿勢をアピールしました。



紹介される当センターのメンバー

皆さんの仲間
(会員数)

12月19日現在	
男	1,057人
女	468人
計	1,525人



浅川八重子

絵画

荷をほどく
花屋の指から 蝶生まる

光あつめて 新障子

富澤 秀雄

俳句

ひろば



事務局だより

北部ブロックフェスティバル2017を終えて

北部ブロックのセンターが集まり、「シルバー人材フェスティバル2017」を10月21日(土)に、池田市の「池田駅前」で開催しました。当日は台風の影響で、雨風が強くなり、内容変更をしたにもかかわらず、約500名もの来場者がありました。当センターは、ポン菓子等の無料配布、手芸同好会「つくし」による販売で参加しました。他センターと共同での出店方式を取り、交流を深める場ともなりました。(渡邊 康太)

システム変更のお知らせ

平成30年1月末より事務局のシステム変更に伴い平成30年度の会員証など様式が変わります。また4月より、ホームページもリニューアルを予定しています。

第22回クイズ

寒い冬に欠かせない

食材に関する問題です

塩鮭などの塩分の高い食べ物をあえて塩水に浸すことで、塩抜きをする料理の技を何と呼ぶでしょう。

- ① 呼び塩
- ② 引き塩
- ③ 帰塩

会員更新のお知らせ

2月13日(予定)より、平成30年度の会員更新がスタートします。別紙(「会員更新のお知らせ」)を確認いただき、すみやかな手続きをお願いします。更新されない場合、お仕事の提供ができない場合がありますので、忘れないようご留意ください。

また退会は、電話で結構です。必ず事務局まで連絡願います。

配分金の確定申告について

就業により、センターから会員に支払われる配分金は所得税上、「雑所得」として扱われます。以下に該当する場合は、確定申告を行う必要がありますのでご注意ください。

- 配分金収入のみの場合
年間配分金合計額が85万円を超える場合
- 配分金収入の他に公的年金収入がある場合
(年間配分金-控除額65万円)+(公的年金等-公的年金控除額)が38万円以上の場合

※その他不明な点は、茨木税務署におたずねください。



(チエブクロー)

町田 和子
①
スズメのイラスト

謹賀新年

今年も広報委員一同頑張ります。よろしく願いいたします。

二〇一八年 元旦

広報委員会

- 委員長 廣澤 元一
- 副委員長 川崎 博一
- 委員 橋本由紀子
- 委員 今出富美子
- 委員 柏木 秋江
- 委員 藪下 昌久
- 委員 土生 潤子
- 委員 川野 正照

編集後記

平成30年がスタートしました。この時季に感じるのは、時の流れの速さへの驚きと、一つ年齢が加わることへの微妙な気持ちです。「齢」の語源は、ブリタニカ国際大百科事典によると、脱皮を重ねて成長する昆虫類の、それぞれの発育段階をいうとありました。

私たちは高齢者ですが、齢を重ねる限りは何らかの進歩・向上を目指して脱皮を繰り返し、日々の暮らしを再点検しながら過ごしていきたいものです。

本年が会員の皆さまにとって、いつまでも記憶に残り続ける素晴らしい年となりますよう念じています。

(川崎 博一)